

「山口県新たな時代の人づくり推進方針」の概要

変化が激しく将来の予測が困難な時代の中で、地域や社会の課題に果敢に挑戦し、それを乗り越え、本県の未来を切り拓いていく若者を育成するため、令和3年3月策定

《新たな時代を担う人材像》

ふるさと山口に誇りと愛着を有し、高い「志」と「行動力」をもって、地域や社会の課題を自ら発見、他者と協働しながら解決し、新たな価値を創造できる人材

《6つの『取組の視点』》

1 生涯にわたる人づくりの基礎を培う

- ① 幼児教育・保育の充実
- ② 学びの接続と一貫した人づくり

2 ふるさと山口への誇りと愛着を高める

- ・山口県人としてのアイデンティティの確立
- ・「ナナメの関係」から刺激を受け合う「憧れの連鎖」の創出

3 新たな価値を創造する力を育む

- ① 地域や社会が抱える課題を発見し、他者と協働して解決する力の育成
- ② 自らキャリアを構築する力の育成
- ③ グローバルな視野の育成
- ④ AI 等新しい技術を活用する力の育成

4 誰にも等しくチャレンジの機会を創る

- ① 障害のある幼児児童生徒
- ② 家庭環境等に困難を有する幼児児童生徒
- ③ その他特別な支援を必要とする児童生徒
- ④ 「学び直し」を希望する若者

5 地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える

- ① 児童生徒の可能性を伸ばし、「志」を叶える新たな学びの場の創造
- ② 教育の ICT 化の推進
- ③ 社会の変化に対応した専門高校の充実
- ④ コミュニティ・スクールの深化
- ⑤ 県内高等教育機関における機能分担と連携の推進

6 新たな人づくりの推進体制を築く

- ① 幼稚園教諭・保育士等の資質能力の向上、確保・育成
- ② 教職員の資質能力の向上
- ③ 新たな学びを先導する体制整備
- ④ 推進方針に基づく取組の推進と検証

取組の視点 1 生涯にわたる人づくりの基礎を培う

【主な取組】

- ・ **山口県乳幼児の育ちと学び支援センター**と山口県立大学の**子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所**とが連携した研修会やアドバイザー等訪問など、特別支援教育・保育等について**保育者の専門性の向上を図る**取組を充実
- ・ 保育所や幼稚園等において障害の有無に関わらず誰もが等しく育ち・学び・遊べる環境を整えるため、**多様性に配慮した遊具等の整備**に対する支援を継続（R5～）
- ・ 保育士が子ども主体の保育業務に注力できるよう、**保育士の加配**や**保育補助者・支援者の配置**及び**マネジメントへの支援**を実施
- ・ 多様化する教育的ニーズに対応するため、私立幼稚園が行う**預かり保育**や**特別の支援が必要な幼児の受入れ、医療的ケアを行う看護職員等**の配置を支援
- ・ 保育者・子ども双方の**ウェルビーイング向上**のため、**保育者向けのオンラインセミナー**を開催（R6.9）
- ・ **モノづくりなどの様々な体験型ワークショップ**を一堂に集めたイベント（R6.11）や、**自然や科学と触れ合うプログラム**（年3回）を開催し、子どもたちの豊かな心を育成

【課題】

- ・ 様々な困難を抱えた子どもへのきめ細かな対応を行うため、**園の実態の把握や複雑化する今日的課題に合った研修や支援**の充実を図ることが必要
- ・ さらなる保育の質の向上を図るため、保育者が**子ども主体の保育業務に注力できる体制・環境**の整備が必要
- ・ 子どもたちにより良い幼児教育・保育を提供するため、**安定的な保育者育成・確保・定着**が必要

【今後の方向性】

- ・ 山口県乳幼児の育ちと学び支援センターにおいて、子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所の知見等を活用し、**園の特性に応じた効果的な園内研修の実施に係る助言や訪問支援**を充実
- ・ **保育士の加配**や**保育補助者・支援者の配置**による人員体制の強化及び **ICT の活用等による業務改善**を推進
- ・ 若い世代への**保育職への興味関心の醸成**、保育士・幼稚園教諭等の**処遇改善**や**キャリア形成支援**、**保育士資格や幼稚園教諭免許の取得に係る支援**を総合的に推進

取組の視点2 ふるさと山口への誇りと愛着を高める

【主な取組】

- ・ 子どもが主体となって大人と共に学び合う「**子どもが地域の先生プロジェクト**」を実施するなど、**子どもの豊かな学びや育ちを地域で支援**し、ふるさとへの愛着を高める取組を推進（R5～）
- ・ 地域で活躍している大人との**世代を超えた協働的な学び**のプログラムや、子どもと学生とが**地域資源を活用**した課題に取り組む活動を通じて、子どもと大人との**ナナメの関係**を育み「**憧れの連鎖**」を創出（R6～）
- ・ 小・中学生を対象に、先人に学ぶ講義や他者との関わり合いを重視した体験活動等を通じて、**ふるさとへの誇りや仲間づくりの大切さを学ぶ**プログラム（R6.8、R6.12）を開催
- ・ 中学生が様々なまちづくりの取組を知ることを通してまちづくりに対する興味・関心を高め、**自分のまちへの愛着を育む**プログラムを実施（R7.7）

【課題】

- ・ **豊かな自然や歴史文化、地域の人々との関わり合い**を通じて、地域の魅力を知り、愛着を高めることが必要
- ・ 地域に根ざした多角的な人づくりを進めるため、**民間団体等の力も取り入れながら**、地域に親しみ、学ぶことのできる環境を整えることが必要
- ・ ふるさとを大切にする気持ちを醸成し、**より良い地域づくりに主体的に参画しようとする「地域の創り手」**としての志を育むことが必要
- ・ 若者の郷土愛や**地域社会に貢献する意識**を高めていくことが必要

【今後の方向性】

- ・ **様々な地域資源に触れるとともに、地域・社会の多様な人々とつながる**体験的なプログラムを充実
- ・ 新たな時代の人づくり推進ネットワークを活用するなど、**民間団体等による自主的・主体的な取組**を更に推進
- ・ 将来にわたり、**ふるさとを想い、関わり続ける意識**を醸成するため、若者がより**多角的・継続的に地域社会とつながること**のできる機会を創出
- ・ 子どもが地域課題の解決に取り組み、地域への提案を行うなど、「**地域の創り手**」を**育成する取組**を展開
- ・ 若者が地域で多様な人材と交流し、活躍の場となる「**サードプレイス**」のモデルを創出

取組の視点3 新たな価値を創造する力を育む

【主な取組】

- ・ 高校生が身近にある課題を主体的に発見し、山口で活躍する大学生や社会人の支援を受けながら**課題解決に取り組む探究プログラム**（R6.8～R7.2）や、**活動を振り返り、互いに学び合う探究サミット**（R6.12、R7.2）を開催
- ・ 高校生を対象に、**米国スタンフォード大学と連携**した英語による発信力の向上や国際感覚の涵養を図るプログラム（R6.9～R7.3）を実施するとともに、**短期留学経費の支援**により、グローバル人材を育成
- ・ **地域医療等をテーマとしたセミナーや先端研究を体験するプログラム、ハイレベル課外授業等**を実施し、志の高い高校生が切磋琢磨して学び合う機会を充実することで、今後の社会課題への対応に向けて求められる人材を育成（R6.8～R6.12）
- ・ 小学生から高校生までを対象とした **ICT の活用等に係るコンテスト**（R6.8～R7.1）や、高校生を対象とした **AI やプログラミングの基礎を学ぶ講座**（R6.8～R7.3）を開催し、デジタル人材に必要な資質能力を育成

【課題】

- ・ **時代や社会の変化に対応した高等教育**により、地域が求める人材を育成することが必要
- ・ 国際社会や地域社会で活躍する、コミュニケーション能力や課題解決力などの国際的素養を持った**グローバル・リーダーの育成**が必要
- ・ **AI 等のデジタル技術**が急速に進展する中、これらを**有効に活用できる人材の育成**が必要
- ・ 個人としてより良く生き、**自分も他者も幸せになる地域社会の創り手**になるとの意識を醸成することが必要

【今後の方向性】

- ・ **大学や産業界等の連携・協働**により、**データサイエンスやPBL、アントレプレナーシップ教育等**の教育プログラムを充実
- ・ 総合的な英語力に加え、**世界に向けた広い視野と地域の身近な問題を意識する視点**を持つ人材の育成に向けた、探究機会を一層充実
- ・ **ICT や AI 等を活用した、文理横断的・探究的なカリキュラム**を充実
- ・ **ウェルビーイングの観点に着目した人づくり**の取組を進めることにより、主体性や自己肯定感、他者と協働し課題を解決する力を育成

取組の視点4 誰にも等しくチャレンジの機会を創る

【主な取組】

- ・ 東京大学先端科学技術研究センターと連携し、身近なことを主体的な学びにつなげ、個別最適な学びの場を創出するプログラム（R6.8～R6.11）や、障害の有無にかかわらず、志を持ちチャレンジする力を育むワークショップ（R6.12）を開催
- ・ 日本語指導が必要な児童生徒が、日本語で学校生活を営み学習に取り組むことができるよう、小・中学校において、**1人1台端末を活用した遠隔・オンラインによる日本語指導**を実施
- ・ スクールカウンセラーによる**1人1台端末を活用したオンライン相談**を実施するとともに、通常の学級での学習や集団での生活が困難となった生徒の支援を行う「**ステップアップルーム**」を県内**25校の中学校に拡充**（R6）し、専属の教員による個別支援を実施
- ・ 子どもたちの小さなSOSを早期に発見するため、**心の健康観察アプリ**の導入に向けた実証事業を実施（R6）

【課題】

- ・ 解決すべき課題が複雑化・多様化する中で、特別な支援が必要な子どもの自己のもつ力や可能性を伸ばすことができるよう、**学校・地域・家庭が連携・協働**し、子どもたちの学びと育ちを更に充実することが必要
- ・ 家庭環境や経済状況等にかかわらず、「志」を育み、行動していけるよう、様々な困難を抱える子ども・若者に対して、**教育を受ける機会を確保**することが必要
- ・ 様々な困難を抱える全ての児童生徒が安心して学ぶことができるよう、**いじめや不登校等の未然防止や早期発見・早期対応の充実**が必要

【今後の方向性】

- ・ 総合支援学校における**コミュニティ・スクール**を核とした学校間や地域との**交流及び共同学習**、地域交流スペースを活用した**実践的・体験的な学習活動**を推進
- ・ **学校や地域との連携**による、不登校児童生徒等に対する**家庭教育への支援**を充実
- ・ 家庭環境等に困難を抱える子どもの**早期把握と学習環境**の充実を図るとともに、経済的な理由で修学が困難な学生の**奨学金返還補助制度**の活用を推進
- ・ **アウトリーチ型の相談体制**の整備や**校内の居場所づくり**、**専門家の派遣・配置**などの支援を充実

取組の視点5 地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える

【主な取組】

- ・ 県内3大学が設立した大学等連携推進法人が **SPARC 教育プログラム**を開発し、山口大学が**ひと・まち未来共創学環**を、山口県立大学が**情報社会学科**を新設（R7.4）
- ・ **1人1台端末**等の日常的な活用を促すとともに、**教育ダッシュボード**を構築（R6.11）し、一人ひとりに合った効果的な学びを支援
- ・ 地域連携教育の全県的な連携推進体制を構築・強化するとともに、活動充実に向けた**地域連携教育再加速フォーラム**を開催（R7.1）
- ・ 地域や学生の学びの多様化を図るため、県立大学に**地域連携スペース**を設置し、地域・企業等との共創の場を創出（R6.4～）

【課題】

- ・ 「やまぐちスマートスクール構想 2.0」の推進により、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることが必要
- ・ **特色ある教育活動**や**より質の高い教育**を提供することにより生徒の可能性を伸ばす、新たな学びの場を創出することが必要
- ・ 地域課題の解決を図ることのできる**文系DX人材の育成**など、地域や時代のニーズに対応し、**将来を見据えた高等教育を推進**することが必要
- ・ **地域づくりに主体的に参画する意識**を高めていけるよう、**地域連携教育**を更に深化させることが必要
- ・ **各私立学校における特色ある教育**を一層推進することが必要

【今後の方向性】

- ・ 対話により思考を深める**生成AIを活用した学習支援アプリの普及**などにより、生徒が主体的に学ぶことができる環境を整備
- ・ 「**第3期県立高校将来構想**」に基づく探究的な学習活動の充実や併設型中学校の設置など**特色ある学校づくり**を推進
- ・ 「**山口県立大学将来構想**」に基づく**高大連携**を推進
- ・ 「**大学等連携推進法人**」等の活用により、文系DX人材の育成に向けた教育プログラムの実践等を推進
- ・ **校種の枠を越えて地域の魅力化を支援する地域連携推進体制**を整備
- ・ **学校を核として社会教育団体や社会教育施設が連携した地域づくり**を推進
- ・ **各私立学校における教育条件の維持・向上**や、生徒に係る**修学上の経済的負担の軽減、環境整備**等の支援を充実

取組の視点6 新たな人づくりの推進体制を築く

【主な取組】

- ・ 令和7年度実施の**教員採用試験**において、**早期化**や**大学3年生受験**など、試験制度を改善
- ・ 「**教員をめざす学生の学校体験制度**」や「**採用前教職インターンシップ**」を大学4年間の一連の流れの中に位置付け、教員を志望する学生への切れ目のないサポートを実施
- ・ 教員志望者の拡大に向け、**学校見学バスツアー**や**コミュニケーション等をテーマにした講義・演習**など、多様なセミナーを開催（R6 計12回）
- ・ **教員業務支援員や部活動指導員の配置**により、教員の負担を軽減し、勤務体制等の改善を推進
- ・ 全県的な連携・協働組織「**新たな時代の人づくり推進ネットワーク**」の取組への支援や、外部有識者「**新たな時代の人づくりアドバイザー**」の活用により、推進方針に沿った人づくりの推進体制を強化
- ・ 様々な学びの場において**ウェルビーイング**を広めていけるよう、各地域・団体で活用できる**副読本やワークブック**を作成（R7.3）

【課題】

- ・ **教職員の継続的な確保**や**健康維持・増進**を図ることにより、安定的な教育活動を行える体制づくりが必要
- ・ 教員の負担を軽減し、教育の質を向上させるため、**教職員の働き方改革**の一層の推進が必要
- ・ 質の高い教育環境を維持するためには、子どもたちだけでなく、**教職員や保育者のウェルビーイングを高める**ことが必要
- ・ **多様かつ質の高い学び**をより身近な場で提供できるよう、人づくりに関わる**関係者が一層連携・協働**して内容の充実と質の向上を図ることが必要

【今後の方向性】

- ・ 教職の魅力を発信するなど**教員志望者拡大**に向けた取組を行うとともに、メンタルヘルスを含めた**適切な健康管理**を実施
- ・ **統合型校務支援システム**の活用促進や、**部活動の地域移行等**を推進
- ・ **教育者・保育者向けに、ウェルビーイングを高めるプログラム**を実施
- ・ **人づくり推進ネットワーク**や**人づくりアドバイザー**を活用しながら、推進方針に沿った取組の輪を広げることで、**新たな学びの場の創出**を促進